**正答数分布**

**令和６年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて　【国語】　篠崎中学校**

**「 領 域 別 」 の 結 果**

篠崎中学校：8.1問　　江戸川区（区立）：8.6問

東京都（公立）：9.1問　　全国（公立） ：8.7問

平均正答数

＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

【平均正答率の差】

|  |  |
| --- | --- |
|  | 上位　　　　　　　　　　　　　　　　下位 |
| 国　語 | Ａ層12～15問 | Ｂ層9～11問 | Ｃ層7～8問 | Ｄ層0～6問 |
| 篠崎中学校 | 16.0 | 30.1 | 21.1 | 32.6 |
| 江戸川区（区立） | 21.2 | 32.2 | 19.3 | 27.3 |
| 東京都（公立） | 27.7 | 32.2 | 17.6 | 22.5 |
| 全国（公立） | 23.3 | 31.4 | 18.8 | 26.5 |

【分析結果と授業改善に向けて】

|  |  |
| --- | --- |
| 篠崎中学校 | 54％ |
| 江戸川区（区立） | 57％ |
| 東京都（公立） | 61％ |
| 全国（公立） | 58.1％ |
| 都との差 | 7ポイント |

全国と比べて上位層が少なく 中位層及び下位層に偏りが見られる。話合いの中で、話題を意識しながら経過を捉えて話したり聞いたりすることや、話合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。考えを深めるために、書く場面や、発表の場面などでの、言語活動の工夫を行い、言語活動の充実を図る。

％

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。